



# ふくしミニ情報 第6回 かまくらママ&パパ'Sカレッジ 特別企画

## 親子で楽しむあそびの大学

毎年好評の「かまくらママ&パパ'Sカレッジ特別企画」は今年で6回目の開催となります。今年も企画が盛りだくさん!鎌倉市、鎌倉女子大学、かまくら子育て支援グループ懇談会の三者主催で親子の遊びや子育てに役立つヒントを提案します。また、学生ボランティアが「あそび」をサポートします。ぜひ家族で一日楽しくお過ごしください。

お弁当を食べる休憩スペース、学内のカフェテリアも利用できます。(乳幼児の食事はご用意ください)  
お祖父さん、お祖母さんも一緒にどうぞ。お孫さんの成長を見に来ませんか?三世代記念写真のプレゼントがあります。



### 身近なものでおもちゃづくり

身近な材料を使って親子でおもちゃを制作します。つくる過程も楽しむ企画です。



### みんなで楽しく歌ってあそぼう!

子どもが大好きな歌を、みんなで歌ったり踊ったり、楽しく過ごします。



### 親子で体操、みんなで体操

親子でリズム運動、組体操を行います。



### 親子で運動あそび

親子、または複数の親子で行える運動遊びを提供します。



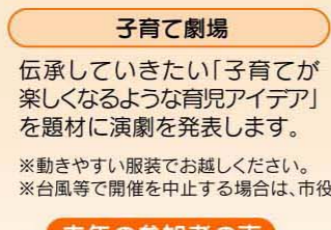
### めたかだよ

学生が育てた親メダカと子メダカと一緒に観察して触れることができます。



### おそとであそぼう

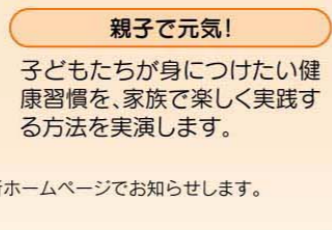
落ち葉などの自然素材を使った遊びやダンボールを使った屋外ならではのダイナミックな遊びを提供します。



### 子育て劇場

伝承していきたい「子育てが楽しくなるような育児アイデア」を題材に演劇を発表します。

※動きやすい服装でお越しください。  
※台風等で開催を中止する場合は、市役所ホームページでお知らせします。



### 親子で元気!

子どもたちが身につけたい健康習慣を、家族で楽しく実践する方法を実演します。

### 去年の参加者の声

- 学生の方が優しく子どもに接してくださり、とても良かったです。楽しく過ごせました。ありがとうございました。
- きれいなキャンパスで若くはつつとした女子大生のみなさんに遊んでいただき、6歳の息子は満足。私もだん入ることのない大学内を見られて自分の学生時代に思いをはせつつ、楽しくすごすことができました。5ヶ月の次男もおむつ替えスペースや授乳コーナーが充実していて、ゆっくり過ごせました。来年も来たいです。
- 良い天気だったので、親子でとても楽しく過ごす事が出来、とても楽しい1日になりました。また、1歳の子どもがいるので来年もイベント参加したいと思っています。ありがとうございました。

### ◆かまくら子育て支援グループ懇談会とは?◆

市内の「子育て支援グループ」と「子育て中の保護者グループ」13団体で運営している市民活動団体です。

♥ おもいやりの心、お手伝いします

## メディケアセンター 鎌倉

福祉用具レンタル・販売  
住宅改修・ケアプラン作成

株式会社メディケア

〒248-0014  
鎌倉市由比ガ浜1-4-27  
TEL.0467-60-4165  
FAX.0467-60-4160  
http://www.mc-tehart.com



## ハーモニー

- ・移動支援
- ・行動援護
- ・居宅介護

新しく活動を始めたハーモニーに加わってください。

ガイドヘルパーまたはホームヘルパー資格所有の方週2日以上活動できる方を希望します。  
平日は14時以降、2時間程度  
土日は10時以降、4時間程度

問い合わせ先 ハーモニー 三嶋 章

TEL.080-6522-3403(いつでも)  
TEL&FAX.46-8665

### 福祉活動振興基金にご寄付をいただいた方々

(平成23年6月22日～平成23年8月26日)

(敬称略・順不同)

- 団体
- ・(株)ニュー・トローヤ
- ・イトヨーカード労働組合大船支部
- ・鎌倉45アマチュアダンスサークル
- ・チャリティ連合

団体3団体、匿名1件  
ご寄付金額157,000円

ご寄付ありがとうございました。

平成23年10月

# 鎌倉社協だより



発行・編集

社会福祉法人  
鎌倉市社会福祉協議会

〒248-0012  
鎌倉市御成町20-21

TEL. 0467(23)1075  
FAX. 0467(22)2213

(Eメール)info@kamakura-shakyo.jp  
(ホームページ)  
http://www.kamakura-shakyo.jp

鎌倉市社会福祉協議会  
イメージキャラクター「フクちゃん」

◆◆◆「社協」は、社会福祉協議会の略称です◆◆◆

## ～岩手県釜石市災害支援ボランティアセンターへ市社協職員を派遣～

神奈川県・市区町村社協では、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県の沿岸部に位置する釜石市へ、社協職員を派遣し支援を行っています。

鎌倉市社会福祉協議会では、平成23年6月9日から6月17日までの9日間に、釜石市へ市社協職員を派遣して、釜石市社会福祉協議会が運営する災害支援ボランティアセンターのお手伝いをしてきました。現地ではボランティアセンターの職員として、次の業務を行ってきました。

- 1 県内外からのボランティアの受け入れ手続きや活動器材の貸出しなどの受付
- 2 がれき撤去や泥出しなど、ボランティアの皆さんが安全に活動できるかの事前現地調査
- 3 避難所や仮設住宅への巡回訪問によるニーズの聴き取り
- 4 生活福祉資金の貸付相談
- 5 データ入力・ブログの作成や広報の事務



被害甚大の鶏住居地区の様子



初めて活動するボランティアに説明している職員



朝の受付を待つボランティア



被災した神社のがれき撤去と泥出しの様子

現地では、日々たくさんのボランティアが訪れ、被災した個人宅や商店のがれき撤去や、泥出し、思い出の写真洗浄、仮設住宅への引越しなどの活動をしています。釜石を訪れたボランティアの数は、2万5千人を超え(8月27日現在)、全国からの支援の輪が広がっているようです。

現在、被災地での経験を地元鎌倉で活かせればと、鎌倉のボランティア・NPOや自治会町内会などに現地の様子を伝える機会を設けています。ご希望の団体は、地域福祉係まで(23-1075)。

釜石災害支援ボランティアセンターの情報は、下記ホームページをご覧ください。

http://blog.canpan.info/kamaishi-vc/

○自治会・町内会のみなさんには日頃から鎌倉の地域福祉に多大なご協力をいただきありがとうございます。いつも大変お手数をおかけしておりますが、「鎌倉社協だより」の回覧にご協力をよろしくお願い致します。



このたよりは、再生紙を使用しています。

このたよりは、共同募金配分金(一部)により発行しています。

★2面・3面 共同募金のお知らせ 福祉まつりのお礼 ボランティアバス参加者募集中 障がい者地域作業所